



2012～2013 年度
国際ロータリー会長
田中作次

Weekly Report Niigata



2012～2013 年度
新潟ロータリー会長
下岡正八



奉仕を通じて 平和を

2012～13 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 3月第2例会 (2013.3.12) No.2984

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 下岡 正八会長挨拶

コミュニケーション

近年若者の「コミュニケーション」能力が落ちたとか、下手になったといった言葉を耳にすることが多くなりました。

一般社会では「コミュニケーション」という用語を、どのような意味に使用しているのでしょうか。辞書を引くと『言語や象徴のやりとり』と書いてあります。しかし言語は人工物で、コミュニケーションの手段(媒体)であって本質ではありません。私の挨拶で繰り返してきた言語や象徴によってさえも表し得ない暗黙知や不変項について、説明がありません。

そこで、再度辞書を引くと『人間が互いに意思・感情・思考などを伝達し合うこと』つまり、パラランゲージ(準言語)話す内容ではなく、話し方のことだといえます。フッサールの存在論では、言語を用いることができないのは存在しないこと、だそうです。

全ての心的現象は個人の主観的な経験であって、他者によって直接みたり触れたりできないのです。このように脳の働きは、現在の人間の知識では定義できないことを、どのように行っているのでしょうか。

社会的には、書類媒体から電子媒体への変化が起こっています。直接的対話ではなく、携帯・スマホ・タブレット・パソコンといった間接的対話になってきている中で、文字リテラシーから視覚リテラシーへの変化も進行しています。

更に、間違った専門性に浸っている社会では、能力も無いのに専門家等の勝手な解釈で専門用語を多用しています。若者には理解できない用語が増加しているため、嫌気がさして敬遠しているのでは。

米国では、一年に八千語の新しい用語が誕生しているといわれています。当然、死語も同数増加しています。医歯学の分野で現在の学生は、私が受けた50年前の200~400倍の情報の提供を受け、暗記を強要されています。

本当に若者のコミュニケーション能力が落ちたといえるのでしょうか。それとも、近代化についていけないボケ老人のタワゴトとして流しましょうか。

(3) ビジターの紹介

松本 英明君(浪江 RC)

(4) 退会ご挨拶

第一生命保険 新潟支社長 早川達也君

(5) ロータリーの友紹介(前川 馨広報副委員長)

(6) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(後藤司郎委員)

樋熊 紀雄君

青少年育成基金寄付発表(宇尾野 隆幹事)

金親 顯男君 樋熊 紀雄君

(7) ニコニコボックス紹介(横山 芳郎委員)

・松本英明君(浪江 RC) 大震災、原発事故から2年が経過しました。復興とは名ばかりですが、少しずつあゆみつつづけています。新潟県民、新潟 RC の皆様のご支援に感謝申し上げます。

・早川 達也君 2年間、お世話になりました。

・塚田 正幸君 ①先週例会を休み沖縄へ行って来ました。新潟～那覇直行便で3時間、韓国より遠い沖縄です。観光ではなく息子が今月当地の大学を5年かかって卒業したので、お世話になった教授に御礼を述べて来ました。さらに名護市の名護 RC に初めてメーキャップしてきました。パナーの交換もしてきました。②皆さん今日3月12日は私の64回目の誕生日です。例会日が誕生日なんて滅多に有りません。皆さんに祝って頂きありがとうございます。ピアノ演奏の濱田さんに事前にお願ひして今日は私の好きな曲も演奏してもらいました。濱田さんどうもありがとうございます。

・金親 顯男君 例会場の変更(12階 ゴンドリーナにて開催)にご協力頂き、感謝致します。

・新潟明訓中学校設立後6年経ち、一期生が大学受験となりました。2クラス(80名)で東大3名、東北大3名、東京工大2名、医学部医学科新潟大1名、自治医大2名、その他いい成績でした。中学校設立は成功でした。今後もよろしくお願ひします。理事長 伴 昭彦、監事 本間 彊、評議員 小林 悟

(8) 幹事報告(宇尾野 隆幹事)

・白根 RC50周年記念式典には出来るだけ大勢の参加を頂きたく、人数がまとまればバスの手配をして下さるとの連絡を頂きました。是非、大勢の参加をお願い致します。

・JTB 遠藤会員の元所属クラブ 甲府 RC と塚田さんがメーカーした名護ロータリークラブのパナーを頂きましたので、回覧致します。

・いわき鹿島 RC 様よりのお便り披露

ようやく春めき、なごやかなる季節になりました。貴ロータリークラブ様におかれましては、ますますご発展の事とお慶び申し上げます。昨年度、東日本大震災被災地域青少年育成の為、新潟ロータリークラブ様より義援金を頂きましてありがとうございました。この度、当クラブ会員の曾我泉美が「NPO 法人ふくしま震災孤児・児童を見守る会」を立ち上げましたので、その活動資金に充てていただくよう贈呈いたしました。3月10日、地域の子供や保護者を集めて懇談会やイベントを行うので、そのシンボルとして子供達の手形で絵を描いた「こいのぼり」を作る費用の一部に充てることとします。以上の通り有効に使わせて頂きましたことをご報告し、心より感謝と御礼を申し上げます。最後になりましたが、新潟ロータリークラブ様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

平成25年3月6日 いわきロータリークラブ
会長 豊田光代、幹事 中山昌子

(9) 会員スピーチ

「時代と共に見る 損害保険と業界の歴史」

日本興亜損害保険(株)新潟支店長 鈴木 孝佳 君

米山奨学生 張 文婷さんのご挨拶 (3/5 例会)

皆様、こんにちは。

新潟大学の張文婷です。私がロータリーの奨学生となって、早いもので2年間が経とうとしています。思い起こせば、2年前、念願の米山奨学生になれたことを大変うれしく思ったと同時に、人生の大先輩であるロータリーアンの皆様を前に、大変緊張をし、毎月、原稿の作成に多くの時間を費やしていました。しかし、大変忙しい皆様の大切な時間の中、毎月 5 分ほどのお話をする時間を作って頂くことで、米山奨学生としての信念と誇りを再認識でき、時には研究等で挫折した心を整理し、自信を取り戻すことに繋がることもありました。

ここで、一つご報告があります。1 日に合格発表があり、無事に学位を取得することができました。ロータリーの奨学生となったことで私は経済面においてのみならず、ロータリアンの皆様の温かいご支援が大きな励ましと力となっていました。米山奨学生になっていなかったら、家族にこれ以上の負担をかけられないため、恐らく私は博士課程を中退していたと思います。ですので、今の自分がいるのはロータリーアンの皆様のおかげだと考えています。

米山奨学生になってから多くのことを学び、感じ取り、考え深いことがあった中でも、今日は「人への奉仕」についてお話ししたいと思います。

初め、私は皆様がなぜ、世の多くの若者と難民たちを差別なく経済的に支援するのか分かりませんでした。特に日中や日韓の政治及び歴史問題が衝突したとき、もし自分が支援する立場にいたら、どう思うのかまで考え込みました。小さい頃から日本社会に溶け込もうと努力した結果、国籍なんて関係ないと思うようになっていましたが、この時ばかりは、国籍の隔たりを痛感せず

にはられません。国境なき差別なき人々を支援し続けているロータリーアンの皆様に敬意を表します。

知らない人への奉仕は崇高なものだが、身近な家族への奉仕も大切であると思うのです。私はこの 2 年間で大切な家族、親せきを 3 人も亡くしました。祖父と叔母です。そして、祖母は今も病気と闘い、辛い毎日を送っています。人は大切なものを失うと初めてその大切さに気づくものです。私は祖父と祖母にこれまで何をしてあげられたか考えてみたが、それは数少ないものであったことに気がきました。戦争を経験してきた祖父と祖母の世代、文化大革命を経験してきた父と母の世代、私たちの世代に至るまで、貧困な生活で苦労を重ねてきた人々は大勢います。日本に来て 20 年、家族で温泉旅行に出かけたことはありませんでしたが、去年の夏、その願いを現実させることができました。子供のように笑って喜ぶ両親を見て、小さな夢を叶うことができ、心からロータリーアンの皆様に感謝をしました。人への奉仕とは、最も身近な存在である両親に出発点があることを皆様が教えてくれたような気がしました。

最後になりますが、4 月から新潟大学の博士研究員になります。同時に仕事を探していきます。これまで人生の 3 分の 1 を中国、3 分の 2 を日本で過ごしてきたため、しばらく中国で仕事をしたいことを望んでいます。目指すところは大学教師としていきます。3 月 2 日付の毎日新聞でこんな記事がありました。「北京の書店から日中関係を見てみたところ、政治問題で日中関係は冷え込んでいるが、中国の書店には日本の話題作は時を置かず訳され、売れ行きは好調である」と。政治問題で日中関係が悪化した一方、市場経済化が進んだ中国社会の底辺では、若者たちを中心に日本の「書籍」、「ファッション」、「音楽」、「食生活」といったサブカルチャーに対する憧れは強く残ることを実感できます。今の中国の大学生のファッションと慣習、思考など日本の大学生と類似するものを感じます。私は日本に長年根を下ろし、よく日本を知る一人の中国人として、大学という小さな国際社会で日中関係の友好的発展に捧げていきたいです。ロータリーアンの皆様のように、国境なき差別なき人々を支援し続けていくために。

最後は、ロータリーの今後のますますの発展をお祈りしながら、私のスピーチを終わらせていただきます。拙い言葉を最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。そして、いつもお父さんのように接して下さるカウンセラーの小田さんをはじめとするロータリーアンの皆様、事務局の皆様、関係者の皆様、2 年間、本当にありがとうございました。

(10) 本日の出席率 73.81 %

(2 週間前メーク後 83.34 %)

3月19日の例会予定

世界ローターアクト週間に因んで

塚田正幸 RA 委員長君

第 25 回全国ローターアクト研修会に参加して

高橋清文地区 RA 委員